

学校と地域がつながるふくし共育プログラム例ー

	プログラム名	分類	主 な 内 容	備考
①	災害と助け合い～小学生編～ (避難所運営ゲーム：HUG)	授業	災害について学び、普段からの地域のつながりの大切さを知るとともに、避難生活時の助け合いや思いやりについて学ぶ。	防災士の方を依頼した場合、謝礼が必要になる場合があります。
②	災害と助け合い～中学生編～ (災害図上訓練：DIG)	授業	災害に対する地域の強みと弱みを知り、子どもから高齢者まで助け合える地域づくりについて考える。	防災士の方を依頼した場合、謝礼が必要になる場合があります。
③	認知症にやさしい地域を考えよう	授業	認知症の方が地域で心地よく生活するために、自分たちにできることを考える。(ロールプレイ・グループワーク等)	
④	～じぶんの町を良くするしくみ～ 赤い羽根共同募金	授業 地域活動	募金の使い道である身近な地域の福祉活動について学び、地域の方と一緒に街頭募金活動を行う。	
⑤	地域で活動する方のお話を聞こう	授業	地域で活動する方をゲストに、地域の課題や活動を聞き、交流する。	
⑥	障がい当事者の方と学ぼう	授業	地域に暮らす障がい当事者の方をゲストに、日常生活や想いを聞き、交流する。	当事者への謝礼が必要となります。
⑦	茶話会（地区見守り隊）	地域 活動	地域の高齢者同士の交流を目的とし、ゲームやお茶のみをして交流する。	
⑧	会食会（地区社会福祉協議会・ 地区見守り隊）	地域活動	地域の高齢者同士の交流を目的とし、ゲームをしたり手作りの昼食を食べたりして交流する。	
⑨	ふれあい型食事サービス (地区社会福祉協議会)	地域活動	ひとり暮らし高齢者への食事サービスの調理や配送の体験をする。	
⑩	福祉まつり (地区社会福祉協議会)	授業 地域活動	福祉まつりを一緒に企画したり、参加したりして交流する。	
⑪	上記以外に、貴校で実施したいと 考えている活動	※主な内容を、別紙意向調査書に記入してください。		

できるだけ第一希望のプログラムで実施できるようにしていきたいのですが、全体の調整や地区社会福祉協議会との兼ね合いもあるため、**別紙2**「意向調査回答書」に参加人数の規模や、クラス数、開催希望の日時についてご回答をお願いいたします。

※③の「認知症にやさしい地域を考えよう」を希望される場合には、事前に市（高齢者幸福課）が行う認知症サポーター養成講座を受けていただく必要があります。また、認知症サポーター養成講座の開催時期が決まっている場合には、**別紙2**「意向調査回答書」に受講時期を記入してください。